

福祉のかけ橋

平成9年1月号 第14号



新年のげし挨拶

南山見地区社会福祉協議会

会長 前川 正夫

明けましてお目出とうございます。皆様にはご家族お揃いで新春をお迎えになられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年を振りかえりますと、平成元年から推進してまいりました、「ミニ託老所」が総務庁の目に止まり、全国モデル事業の十事例の中へ東海北陸代表として広く紹介されたこと。また、大和証券の福祉財団ボランティア活動助成事業に応募し、地区の「知る葉グループ」に貴重な助成金を賜ったこと等々、地域の皆様方に多大のご尽力を戴いた事柄が多く実を結びました。

これ偏に、皆様方の暖かいご支援ご協力の賜物と心に刻み、本年も皆様のご指導の許でこの地域にふさわしい福祉活動を進めたく希っています。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

第一回ミニ託老所お世話方研修会
講演 「ボケないために」

去る十一月十六日、標記研修会を、講師に野村病院の院長先生をお迎えし、超高齢化が進む中で私達が一番心配になる「ボケ」についてご講演いただきました。

まず、ボケの危険信号や、ボケにならないための予防対策、転ばぬ先の杖等それぞれ六ヶ条にまとめ、実例を多く交え分かり易くお話しして下さいました。

また、ボケの症状は、人によってそれぞれ違い、その看護や対応



講演 野村一郎氏

の仕方についてもお話をしていた
だけ、大変参考になりました。
年齢とともに脳細胞が破壊減少
していく医学の現状から見て、私
達にも何時その症状が現れるか分
かりません。

「予防の自助努力」と、この人
達をお世話する時「相手の立場に
立って考えてあげる」ことの大切
さを一層深く感じました。

山本綾子記

第二回ミニ託老所

お世話方研修会

音楽でコミュニケーション

最近、高齢者や病人、心身障害
者等の健康回復に音楽の力を活用
する音楽療法が普及しています。

当地区社協は、心豊かな日常生
活を目指し、富山県音楽療法協会
理事の関根双葉先生（老健サンセ
リテ音楽指導者）にお願いして七
月十六日の「音楽と地域福祉」の
講演に引き続き、十二月六日、ミ

行事予定

1 一人暮らし老人会食サービ
ス
(七〇才以上夫婦家庭)
期日 一月一七日 二月一五日
午前十一時より三時
会場 南山見公民館

2 町社協配食サービス

一人暮らし老人家庭へ昼食
期日 1/23 2/20

3 在宅介護者リフレッシュ
期日 三月一五日の予定

ミニ託老所お世話方研修会で「音楽
は心を快適にほぐす」と題してご
指導を受けました。

今回の音楽情報学習で多く参考
になった事があったと思います。
地域でも、ミニ託老所でも、明
るい音楽、歌ごえの聞けることを
楽しみにします。

八乙女福祉 カレッジ

「地域を学ぶ」

講師 新藤 正夫氏

十月三十一日南山見公民館で開講の福祉カレッジで、砺波市郷土資料館長新藤先生のご講演を拝聴いたしました。

先生は、砺波散村地域の研究、田地割り制度、農村と農業の変容、降雪積雪の影響、水環境の変化、屋敷林保全等々の調査研究に余暇を当てられる外、民族学にも堪能な方です。

こうした広い視野で南山見地区の研究をしておられる中から

★さまざまな生涯学習の大切さ

★地図と統計に見られる昭和

二四年当時（南山見村勢

要覽）と現況の対比

★水と風と緑について

話をされ、最近本来の自然が失われつつあるようだ。みな幼い思い出があるように、子供たちに小川



講演 新藤正夫氏

のメダカ、櫟のカブト虫、山の緑を大切にしたい心、休まる村を創り、美しい自然を子供や孫へ伝承することを、みなさん忘れないようにと結ばれました。

私達の住む地域を改めて学び知るとともに、自然を保護し、それを守って行くことの大切さを再認識する良い機会となりました。

追記

今回の、ご講演のおり、天保五年三月調整の三州測量図籍中にある「御上使往来道筋南山見地区内図」をいただいています。

(B四版紙)

第八回 Vもう一人運動

十月十七日「ボランテニアもう一人運動」を今年もマーシ園で行いました。

平日でしたが、ボランテニアや福祉関係者八十五名と言う大勢の方々の参加を得て、約二時間余り電子部品の加工や手袋の結束、袋詰め作業等を手伝いながら園生さん達との交流をはかりました。

この作業手伝いは、園生さん達の自立更生に大変役立つとのこと、感謝の見送りをうけ、参加者一同マーシ園をあとにしました。

高嶋 清典 記



Vもう一人運動

平成八年度八乙女福祉カレッジ
第五回地域のふれあい
シンポジウム

さる十一月二十七日「めざそう
暖かい福祉の町を」テーマに、地
域のふれあいシンポジウムが開催
されました。

講師に城端町教育長の中藪淳一
氏をお招きし、「豊かなふるさと
創りを進めるために」と題した基
調講演を拝聴した後、シンポジス
トの四氏より次のテーマで各々意
見発表がありました。

- ①「素敵な地域に健全な子供が
育つ」母親クラブ富田智世氏
 - ②「子供に頼られて幸を知る」
老人クラブ 前田安夫氏
 - ③「心の持ち方 いたわり方」
婦人会 高瀬厚子氏
 - ④「住民参加で住みよい町を」
町内会長 須川俊行氏
- 中藪先生の講演では、最近家庭
や地域の教育力が衰退しつつあり
(1) 家庭の機能を回復する

- (2) 男女共同参画型社会の構築
- (3) 遊びを再評価する
- (4) 充足感のある体験をさせる
こと等が大切だと話されました。

次ぎのシンポジウムでは
富田氏は、福祉はまず家庭が基
盤で思いやり、助け合いの心が地
域へとつながってゆくのではと。

前田氏は、中学校へ郷土学習の
講師として三回参加したが、その
際、子供達から頼られ社会参加の
喜びを感じたと。

高瀬氏は、「幸せ」と言う言葉
の定義はとても難しい。要は心の
持ち方で、価値観を認め合う心で
はないだろうか。

須川氏は、住みよい町づくりと
は、物の豊かさだけでなく、心
の豊かさが大切。また、福祉は与
えられるだけでなく、皆で創り上
げてゆくものではないかと。

終わりに、中藪先生が総括され
福祉は、お互いに価値観を認め合
う思いやり、いたわりの「心」が
その原点であり、それを家庭から

地域へと、広めて行く社会参加が
大切だと結ばれました。

箭原 健二郎 記

お元気な

「光陰矢の如し」の、ことわざ
どおり、あっと言う間の一年でし
た。南山見地区社会福祉協議会か
ら、高齢者の皆様がお元気で越年
されますことを願って、心ばかり
の歳末見舞いの粗品をお届け致し
ます。ご笑納下さい。

八〇才以上老人 八二名
一人暮らし老人 六名
寝たきり老人 三名
合計 九一名

号数	第一四号
発行	平成九年一月号
所在	富山県井波町川原崎
発行者	南山見公民館内 南山見地区社協

◎読んでら綴りましょう